

2008-09年度  
R.I. テーマ



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

To Club Presidents and Secretaries  
R.I. District 2550 (Tochigi, Japan)

ガバナー 羽石光臣

2008-09年度 ガバナーの目標 「子供たちに夢を」その夢をかたちに



「白根山きれいだな」

菊地祐介(宇都宮姿川第一小)  
文星芸大子ども芸術祭・奨励賞



## 今月のガバナーズ・コラム 実践派と理論派 P2

目次

- P2 羽石ガバナーメッセージ
- P3 ローターリー財団月間に因んで
- P4 ガバナー月信によせて
- P5 インターアクトクラブ海外研修報告
- P6 「パスト会長の集い」報告
- P7 ガバナーノミニー候補者推薦について
- P8 公式訪問日より
- P16 米山記念奨学会・ロータリー財団表彰者
- P16 地区主要行事予定
- P17 地区資金/基金及び協力金収支計算書
- P19 新入会員紹介・訃報
- P21 文庫通信、通信欄
- P22 会員増強・出席報告

### 「ロータリーの例会は人生の道場である」

米山梅吉翁  
例会は、事業上の発想の交換の場です。例会を通じて学ぶことはロータリーの奉仕理念と奉仕の心の研鑽です。例会で分かち合いの精神を学び、友情を深め、切磋琢磨しながら、自己改善を計ることです。その結果として、奉仕の精神が育まれる事になると思います。

11月のロータリーレート

米ドル = 100円



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1-1-6 財団法人 栃木県青年会館 コンセーレ4階  
TEL 028-611-3808 FAX 028-611-3809  
http://www.rid2550.jp E-mail : d2550@silk.ocn.ne.jp

05  
2008-11



## 実践派と理論派

国際ロータリー第2550地区  
2008-2009年度ガバナー

羽石光臣（宇都宮東 RC）

1923年「決議 23-34」が採択され、ロータリーは成人になったのですが、「理論派」と「実践派」の論争はいまだに続いていると思います。対立とせず、新たな調和が求められます。「決議 23-34」とは、ロータリーの綱領（目的）にもとづくすべての活動に対する指針です。ロータリーの哲学です。この哲学は奉仕の哲学「超我の奉仕」であり、「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」と言う実践理論に基づくものである。とロータリーの奉仕理念を定義しています。「超我の奉仕」は職業奉仕の心です。「人様のためにお役に立った、見返りが利益」という、考えを無くしてしまったら、自己研鑽が出来ません。「儲ける」そしてそれを「寄付」と言う行為では、他の奉仕団体と変わりません。

「決議 23-34」の哲学はロータリーの奉仕理念です。決議 23-34第 1条を変えますと、ロータリーがロータリーとは異なった組織になってしまいます。しかし、私たち日本のロータリアンが心のよりどころとしています「決議 23-34」、職業奉仕、四大奉仕は撤廃と復活の歴史を繰返しています。

- ・ 1923年 決議 23-34 採択。
- ・ 1948年 RIの職業奉仕委員会が廃止。
- ・ 1986年 「23-34」を撤廃。日本の猛反発で取下げ。
- ・ 1987年 40年ぶりに職業奉仕委員会復活。
- ・ 1988年 「23-34」撤廃、千宗室 RI理事の反対で取り下げ。
- ・ 1992年 蔵並定男 RI理事の“社会奉仕に関する新声明として、「決議 23-34」と共に使用される”という但し書きがついて存続。
- ・ 2001年 「23-34」が章典から消えましたが、板橋パスト RI理事の努力で回復。
- ・ 2007年 ロータリー定款に四大奉仕が規定審議会で採択。

（日本の理事やピチャイ・ラタクル氏  
80年ぶり 423: 43）

- ・ 2007年 「23-34」が章典から抹消。歴史的文献で保存に！

1933年に発行された「ロータリーとは」の中で、当時の様相を回想して、頭（奉仕理念）が異様に小さい犬が、異様に発育した巨大な尻尾（奉仕活動）を振っていると表現しています。（「奉仕理念」と言う哲学と、「奉仕活動」である実践理論が両輪となって、論争しながらも、調和しながら、ロータリーは100年続いて来たのだと思います。奉仕活動はロータリアンの思いつきで奉仕活動の選択をすべきではありません。社会のニーズに合った奉仕活動をすべきですから、社会のニーズに沿った内容に変える必要があります。

D2680田中 毅 FGは下記の様に言われました。  
「新しい声明の策定」

1. ロータリーの理念とすべての奉仕活動の実践の指針。
  2. ロータリー哲学の再確認。
  3. RIとクラブとロータリアンの役割を明確に規定する。
  4. 現在的人道的奉仕活動のニーズに適った指針。
- 決議 23-34の内容に現代にそぐわなくなっている個所があることも事実です。いたずらに決議 23-34にしがみつくのではなく、ロータリーの理念とすべての奉仕活動の指針となる新しいドキュメントを至急策定すべきです。

哲学としてのロータリーの奉仕理念を再確認し、現状に沿うように RIとロータリークラブの組織の管理運営を改革し、ロータリアンの役割を明記し、現在の地域社会や国際社会のニーズに合った奉仕活動の指針を新たに策定したドキュメントを早急に策定して、それに基づいてロータリーの諸活動を実践すべきだと思います。



## ロータリー財団月間(変化する財団)

地区ロータリー財団委員長

佐野 正行 (佐野 RC)

ロータリー財団は1917年アトランタでの国際大会で、アーチ・C・クランフが提案した「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金を作ろう」に始まり、1928年ロータリー財団と名付けられ、ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみで、財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」で、米国イリノイ州の法律の下、非営利財団法人として活動しているのです。

しかし米国の法人のため日本では税制上の優遇措置が受けられない欠点がありましたが、1997年国際交流基金の特定寄付金制度をとおして、30万円以上の教育的プログラムへの寄付に限って優遇措置が受けられるようになり、2003年には20万円以上に変更されました。特定非営利活動法人(NPO)ロータリー日本財団を設立すべく、千玄室氏を代表にロータリー日本財団設立に向け努力され、2007年国際ロータリーとも合意でき7月1日より念願の日本財団が発足しました。そうした中2006年日本では公益法人制度改革関連三法案が公布され、2008年12月に向け公益財団法人の設立を目指しています。

活動面では2007年の規定審議会で、ロータリー財団の使命、標語、優先事項に関する決議が採択されました。

使命：ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

標語：「世界でよいことをしよう(Doing good in the world)」

優先事項：

- ・すべてのプログラムと運営を簡素化すること
- ・プログラムの成果も内容も未来の夢計画に沿ったものにする
- ・地区レベル、クラブレベルにおいてロータリー財団へより一層参加しロータリー財団を自分たちの財団と自覚すること
- ・プログラムの目標達成のための十分な資金と人材を提供すること

・未来の夢計画を支える効果的な方策を開発すること

と決議され、ロータリー財団はRI理事会の承認を受け「未来の夢計画」に向けて大きく変わろうとしています。2010年からのパイロット地区(世界で100地区)での試験的期間を過ぎて2013-2014年度より今までのプログラムは廃止され、新しいプログラムに切り替えられます。

現在6種類の重点分野での活動が考えられています。それは、平和と紛争予防/紛争解決・疾病予防と治療・母子の保健・水と衛生設備・基礎教育と識字率向上・経済開発と地域開発を重点分野に、当初はこの分野に専念していくことになるようです。このようにロータリー財団は大きく変化しようとしているのです。一部は公表されていますが、基本的に各地区で自由に使えるDDFがふえ、地区の責任で活用が大きくなるようですが、逆に現在のプログラムの中で廃止される6プログラムがあり、ロータリー財団100年に向け進んでいるのです。

現在の活動の中でポリオ終結にむかって三度目のチャレンジをしています、皆様すでにご存じのように、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から1億ドルのチャレンジグラントの申し出があり、ロータリーも3年間で同額の1億ドルを募金することになったのです。2550地区では地区で持っているDDFより応募することとし、近藤年度は5万ドル、羽石年度で3万ドル、森年度で2万ドル拠出を考えています。

その他地区の活動では地区補助金を2万ドルと決定し、GSEもフランス1510地区と3月と4月にかけて派遣と受け入れを進めています。国際親善奨学生で前年度推薦の1名の方は本人の都合で派遣取りやめとなり、今年は7名の応募があり3名推薦し、平和フェローに1名の推薦をしています。

こうした活動の基礎となるのは年次寄付金です。今月は財団月間です。今年目標130ドルをよろしく願いいたします。



## ガバナー月信によせて

元R理事

(財)ロータリー米山記念奨学会理事長

**板橋 敏雄** (足利東 RC)

私は、国内の米山記念奨学会を担当していると同時に、国際ロータリーの関係では、これも国際ロータリーが、最大の事業と考え努力をしているポリオ撲滅の次に重要目標としている国際紛争解決のためのロータリーセンターの委員を仰せつかっています。この会合のために、10月9日から10日間14人の委員の一人として、ロータリーセンターの将来とピースフェロー80人の選考をして、昨日帰国いたしました。2009年度より、従来の日本のICU(国際基督教大学)を含め、6校がセンター校になっておりましたが、タイのチュラロンコン大学もセンターに追加されましたので、合計80名となりました。世界平和の為に或いは国際政府機関において、或いは又紛争の最前線において活躍するNGOにおいて、平和の創造に生きがいを感じる学士号を持ち、更に平和活動の機関での実践を条件とされている学生たちです。従って年齢も30歳から50歳代もいます。

すでに7期生が活動を始めています。希望のもてる話です。

会議に出ているながら感じたことは、今RIは、ロータリアンの寄付も大事だが、寄付団体の巨額の寄付も基金として集め、その利息で事業を遂行しようという考え方も強くなっている様に思えました。私には、賛成できないと意見を言っていました。ロータリアン一人一人が理解をして、寄付を集めDDFでピースフェローを支えるのが筋だと思うからです。

そこへ参りますと、我が(財)ロータリー米山記念奨学会は正に世界の模範といえるでしょう。他の団体の寄付などは一切含まれていません。私は先日、米山発祥の東京ロータリークラブの米山月間フォーラムに招かれて出席しました。キーノートスピーカーは、中国北京で弁護士事務所を開き、大成功をしている姫 軍(ジジュン)さんでした。

1995-97年に懸けて東京臨海RCの世話クラブで東京大学院を卒業された方で、すでに2年続けて50万円のお礼の寄付を頂き、大口寄付者と成られています。今年6月商標権をめぐる訴訟でジジュンさんの働きにより、中国最高人民法院がヤマハ発動機に約1億3千万円の全面勝訴を齎した事が英国の法律雑誌に報じられた話をしていました。日本の為にとという思いが根底に根強くあったのです。例会の後、ジジュンさんの他に、韓国からの学友も参加し、約80人位のロータリアンが参加し、素晴らしい意見交換が行われました。

さすが、米山の本家だなあという感動を覚えて来ました。我が地区でもこの様な米山フォーラムを計画してみたら如何でしょう。米山を未だ良く知らない新会員も沢山いると思います。先にも申し上げましたように、その価値を見出し、普通寄付にも、特別寄付にも、自発的に参加する人を一人でも増やす事が、我々、地区米山委員会、学友委員会の大きな仕事ではないでしょうか。米山奨学制度、米山学生、そして学友を、一人でも多くの我が地区ロータリアンに知って貰いたいと思います。それがロータリーです。



## インターアクト・クラブ 2度目のタイ・バンコク研修 (報告その2)

新世代プロジェクト  
インターアクト委員長

月江 寛智 (黒磯 RC)

早稲田エデュケーション・タイランドとの交流は昨年に引き続き2度目で、今回は日本文化を紹介してもらいたいという要望が出たので、参加各校に内容を検討してもらいました。

今回提案された中には、書道、茶道、舞踏、などもありましたが、先方との交渉の結果、書道はすでに実施しており、茶道は道具の準備に問題があり、舞踏は提案校の取りやめで中止となりました。従って前回紹介したようにアヤトリ、折り紙、音楽情報となったわけです。これらの様子は、早稲田エデュケーション・タイランドの8月ニュースレターに紹介されています。

これに先立ち、7月26日午前にはバンコク市内の女性のみで老人福祉施設「バン・バン・ケー」を訪れ、6台の車いすを寄贈しました。昨年訪問したときの写真を額に入れ施設長のワセナ・ルオンチャーさんに贈り、また、ルオンチャーさんからは老人達が作った香袋やアクセサリーなどを籠いっぱい頂き、お礼に歌ってくれた「感謝の歌」の感動を胸に、施設をあとにしました。

車いす贈呈については櫻木地区委員の紹介により、ジャーナリストでタイ在住の川辺徹さんが記事を書いてくれましたので、その様子が8月13日に下野新聞、14日には読売新聞に紹介されました。

1992年「アジアの問題を考える会」からスター

トし、栃木工業高校が修理を受け持ち栃木西RCが支援して始まった車いすを送る運動は、現在北海道から沖縄までの高校や大学が参加する「空飛ぶ車いす学校グループ」に発展し、3000台を超える車いすが贈呈されてきました。中古車いすを収集するボランティア、それを修理するボランティア、そして輸送するボランティアと引き継がれ、必要とする人たちに届けられます。

「日本の車いすは、性能が良く扱いやすいし乗り心地が良い」と、中古品ではありますが感謝の気持ちで迎えられます。

これは単に車いすを届けるという事務的な輸送業務ではありません。このボランティアが、インターアクターに世界をみる目を広げる機会になるであろうと期待されるものです。

午後はアユタヤまで船でチャオプラヤー川を遡って史跡を見学しゾウ乗り体験もし、夜は歴史舞踏を見学してタイの文化と歴史を見聞しました。

地区委員会としてインターアクト・クラブの奉仕活動と国際理解の機会を提供し、無事目的を果たして海外研修を終了することができました。猛暑の中参加していただきました各ロータリアンに深く感謝申し上げます。また、各提唱ロータリー・クラブには多大な財政援助を賜りました事に厚く御礼申し上げ報告と致します。

### 栃木県高校生グループとの交流会を開催

7月25日(金)、栃木県の高中生グループが来校し、デイコース学生との交流会を開催しました。来校したのは国際ロータリー2550地区「新世代プロジェクトインターアクト委員会」の国際交流プログラムの一環として、青藍泰斗高、宇都宮短大附属高、塩谷高、黒磯高、作新学院高の5校の生徒27名と先生方、ロータリークラブ会員の皆様です。学校紹介やフリートーク、日本の歌の合唱などで大いに盛り上がりました。当校の学生にとっては同世代のネイティブスピーカーと話す貴重な機会となりました。



黒磯高校の紹介



「おぼる月夜」を全員で合唱



## 「パスト会長の集い」報告

地区幹事

福田 治雄 (宇都宮東 RC)

昨年の近藤年度に引き続きまして、第2回パスト会長の集いが9月28日(日)ホテルニュー・イタヤで130名余の会員が一堂に会し、和やかに開催されました。ホストクラブ中田功会長の歓迎の言葉に続き、羽石ガバナー挨拶、地区現況報告がなされました。その後、近藤年度の地区大会でRI会長代理としてお見えになった茅ヶ崎湘南RCの松宮剛様に「クラブ活性化のパスト会長の役割」と題してご講演をいただき、大変感銘深いお話をいただきました。尚、その後で活発な意見交換がなされ、ロータリーの活性化を望む熱心な声等熱のこもった研修会になりました。

各クラブの活性化と更なるロータリーの発展・充実の為に、パスト会長各位の今後の益々のご活躍をお願い申し上げます。



## パスト会長の集いプログラム

2008年9月28日(日) 場所: ホテルニューイタヤ ホスト: 宇都宮東RC

12:00~12:30	登録受付・昼食	司会・地区幹事	福田治雄
13:30	点鐘	ガバナー	羽石光臣
	歓迎の言葉	ホストクラブ会長	中田 功
13:35	ガバナー挨拶並びに地区現況報告	ガバナー	羽石光臣
14:00~15:15	講演 「クラブ活性化のパスト会長の役割」	2007年度R研修リーダー	松宮 剛 (茅ヶ崎湘南RC)
15:15~16:15	意見交換		
16:15	点鐘	ガバナー	羽石光臣

## 講演者紹介

### 松宮 剛 (茅ヶ崎湘南 RC)

1947年2月2日 生まれ

松宮歯科医院 院長

趣味: クラシック音楽鑑賞、チェロ演奏、  
ワイン愛飲、登山、読書1982年  
2004~2005年  
2005~2007年  
2006~2008年  
2006年度  
2007年  
2007~2008年茅ヶ崎湘南 RC入会  
ガバナー、ガバナー会副議長  
第2ゾーン会員組織 ゾーンコーディネーター  
地区R財団副委員長  
第2520地区 地区大会RI会長代理  
国際ロータリー研修リーダー  
RRIMC(会員組織地域コーディネーター)  
第2550地区 地区大会RI会長代理



国際ロータリー第 2550地区 2011~ 2012年度

# ガバナーノミニー候補者推薦について

国際ロータリー第 2550地区  
2008~ 2009年度ガバナー

羽石光臣 (宇都宮東 RC)

国際ロータリー細則第 13条ガバナー指名と選挙の定めに従い、国際ロータリー第 2550地区 2011~ 2012年度ガバナーノミニーを指名するため、貴ロータリークラブより適任者を下記によりご推薦下さいますようご依頼申し上げます。

推薦については、手続要覧の国際ロータリー細則 13条及び 15条を参照の上、下記事項をご提出下さい。

## 記

氏 名

所属クラブ

生年月日

ロータリー歴

推薦締切日 2008年 12月末日

提出先 羽石ガバナー事務所

2011~ 2012年度選出ガバナー指名委員会委員長 大竹義夫

## 公式訪問だより

### 小山ロータリークラブ 公式訪問

9月4日(木曜日)  
会場：小山グランドホテル

第5グループ・ガバナー補佐  
柿沼幸宏



まだ残暑がきびしい 9月 4日小山グランドホテルに RI役員である羽石光臣ガバナーをお迎えして、田川宗定小山ロータリークラブ会長はじめ 6名が出席して、11時から懇談会が行われました。

まず田川会長から今年度の方針が縷々述べられ、特に会員の企業の PR それには、プログラムに会員卓話を可能な限り多く取り入れ、会員が声を出して、又各個人の職業を通じて、会員相互の継りを密にし、よって親睦を深め、自分の仕事を通じて奉仕するという高邁な方針を述べられ、流石約 50年の歴史あるクラブと敬服致しました。移動例会も多く取り入れ、炉辺会合的に相互の親睦をはかるとのことでした。羽石ガバナーも同調され、いくつかの例をお示しになり、大いに結構とのことでした。

また、「ロータリーとは何ぞや」という本質的な話も出ました。懇談会も終わり、通常総会の後、午後 1時から 2時まで羽石ガバナーの講話があり、特に決議 23-34 四大奉仕の解説をいただき、その R.I.での攻防の話に会員一同納得し、「ロータリーとは何ぞや」がわかったと感謝しつつ無事公式訪問を終了致しました。

### 佐野ロータリークラブ 公式訪問

8月18日(月曜日)  
会場：ホテルサンルート佐野

第9グループガバナー補佐  
寺内治男



第 9グループ最初の訪問はお盆明けとなる 8月 18日、創立 49年を迎える佐野クラブです。真夏の猛暑が続く中での公式訪問となりました。

午前 10時 30分、会長・幹事との懇談会が開かれました。出席者は羽石ガバナー、寺内第 9グループガバナー補佐、磯野会長、福田幹事、三好会長エレクト、菊池副幹事です。福田幹事の進行により、磯野会長からクラブの現況が報告されました。特に今年度の大きな課題である会員増強について、力強い決意が述べられました。羽石ガバナーよりはクラブ現況報告書等を含めて詳細にわたり指導助言がありました。

例会では新入会員 2名の胸にガバナーによってロータリーバッジが付けられ会員の拍手で入会のセレモニーを迎えることができました。ガバナー挨拶は映像を駆使して、RIと RI2550地区の年度の方針をわかり易く解説されました。よりよく理解できたものと思います。

つづいて炉辺会合に入り、磯野会長の司会で、ガバナー補佐事前訪問時のクラブ協議会で求められた質問事項を福田幹事が代表して質問しました。

1. クラブメンバーの若返りのためには
2. 地区委員会にないクラブ委員会の整合性は
3. 会員増強のための地区としてのアドバイス



#### 4. クラブ活性化のために職業分類を 1業種 1社に限定した方がよいのではないが

以上 4の項目についてガバナーより詳細にわたって指導援助があり充実した会合となりました。中でも、クラブ会員増強のためのプロジェクト委員会については今後の活躍が評価されました。この委員会のメンバーは各委員会を横断した構成なので、その活動状況の経過報告が期待されることになりました。

3年委員会については、すでに設置されている会員増強プロジェクト委員会のように、クラブにとって機能的に動く必要のある場合は、それを構成することがよいことです。

以上多くの質疑事項を解決した実り多い意義あるガバナー公式訪問でした。

## 岩舟ロータリークラブ 公式訪問

8月 19日（火曜日）

会場：岩舟会館

第 9グループガバナー補佐  
寺内 治 男



会長・幹事との懇談会は会場の岩舟会館別室に午前 10時 30分羽石ガバナー、寺内第 9グループガバナー補佐、橋本会長、石山幹事、池田会長エレクト、恩田副幹事、石渡ロータリー情報委員長が集い開催されました。橋本会長よりクラブの現況について、詳しく報告されました。羽石ガバナーよりクラブ現況報告書とその他について、詳細にわたり指導助言があり、次年度以降に向けて重要な資料となるものが多く有意義な懇談会となりました。

例会では羽石ガバナーの公式訪問の挨拶がありました。映像を駆使しての解説で、RIの歴史・現況、RI2550地区の 08～09年度の方針をわかり易く、理解できたものと思います。

例会終了後炉辺会合となり、橋本会長の司会で、クラブ協議会で検討され、すでに提出されている質問事項を中心に会合が進められ、石山幹事より各項目にわたって質問が述べられました。

1. 各小委員会をまとめていく上での常任委員会の役割
2. 先進国と後進国のロータリーの良い点、悪い点、日本のロータリークラブの相違点
3. 「米山学友ホームカミング制度」で里帰りさせた場合の活躍の機会や場所

羽石ガバナーより一つ一つについて丁寧な指導助言がありました。特に CLP常任委員長としての役割、CLPの目的、CLPの委員会構成等、少人数クラブの委員会活動について、話し合いが行われました。その年度の目玉となる委員会、また、3年委員会の重要性、機能的に動くために必要である等突っ込んだ話し合いとなりました。

また、今年度は岩舟クラブとして重要な行事である創立 30周年記念行事を 08～09年内に迎えることになっています。クラブの節目として、次への大きな発展へのステップとなるものと期待されています。

最後に全国でも珍しいクラブの歌、岩舟ロータリークラブの歌「みんなで集まろう、点鐘をならそう・・・」を斉唱して公式訪問の幕を閉じました。

### 追記

岩舟ロータリーの歌は会員島田実氏（故人）の作詞、松永耕明氏の作曲によるものです。一番から五番までありますが、その一番を紹介します。

みんなで集まろう	点鐘を鳴らそう
みんなで集まろう	点鐘を鳴らそう
友と会おうよ	家族を知ろうよ
社会のために	奉仕をしよう
我等のクラブ	みんなのクラブ



## 葛生ロータリークラブ 公式訪問

8月26日（火曜日）

会場：葛生アクトプラザ小ホール

第9グループガバナー補佐  
**寺内 治男**



8月26日午前11時、会場の葛生アクトプラザ小ホール会議室に羽石ガバナー、寺内第9グループガバナー補佐、吉沢パストガバナー、中田会長、奥沢幹事、新田会長エレクト、吉沢（誠）情報委員長、須藤副幹事が集い、懇談会が開催されました。中田会長からクラブの現況について報告があり、質疑応答の時間となりました。羽石ガバナーからクラブ現況報告書について指導助言がありました。その他の問題として少人数のクラブの共通の悩みである委員会の構成について話し合いが行われました。CLP常任委員会の役割、CLPの目的、CLP委員会構成等の問題について、今後の課題となりました。

例会に入り、今日はガバナー公式訪問ということで青藍泰斗高校の呂比須初枝会長、高島枝理香副会長、さらにアメリカからの一年交換留学生ジェレミー・リン・ホースマン（Jeremie Lynn Forsman）さんが出席しました。特にジェレミーさんから達者な日本語（？）の挨拶があり、和やかな空気につつまれました。また、当クラブの出席率が当日100%となり公式訪問に華をそえました。羽石ガバナーの挨拶は、他のクラブと同様に映像を駆使しての卓話でわかりやすく、よく理解されたのではないかと思います。

つづいて炉辺会合に入り、中田会長の司会のもとで次の質問事項が検討されました。

1. 1年交換留学生の担当が国際奉仕委員会から新世代委員会に替わった意義と理由
2. 小さな町での会員増強を計るが困難である、それを克服するには
3. 会員の少ないクラブのCLPの基本的でうまい活用方法は

羽石ガバナーより質問事項については逐一指導助言がありました。特に少人数クラブの共通の悩みである委員会構成については、CLPの目的、CLPの委員会構成のあり方等、課題となるものが多いと思います。葛生クラブは歴史の深さ、年齢構成のバランスも良く、最も充実した立派なクラブだと感じました。これからの活躍が期待されます。

## 佐野東ロータリークラブ 公式訪問

8月27日（水曜日）

会場：大津栄

第9グループガバナー補佐  
**寺内 治男**



午前11時より会長・幹事との懇談会が開催されました。メンバーは羽石ガバナー、寺内第9グループガバナー補佐、宇都宮東RC渡辺副幹事、金井RC会計、恩田会長、小林幹事、市川クラブ奉仕委員長、村野情報委員長の8名です。恩田会長よりクラブの現況について、詳しく報告がありました。つづいて羽石ガバナーよりクラブの現況報告書にわたって指導助言がありました。第9グループの各クラブについて共通していることは定款との整合性等見直さなければならないことが多いように感じます。クラブの歴史を重ねると長い年月の間にマンネリになってしまったことがあるかも知れません。その他、羽石ガバナーより今から二十余年前に米山奨学生であった筑波大学大学院の留学生、権哲賢氏（現駐日本大韓民国特命全權大使）の佐野東ロータリークラブ訪問について、ぜひその経過をガバナー月信に報告したいので大使館の了解をとって欲しいとの要望があったので、それをクラブが取り持つことになりました。



例会では羽石ガバナーより映像を駆使しての卓話で RI の活動状況、その歴史の流れや現状の組織の悩み等、また RI2550 地区の今年度の活動方針がわかり易く詳細に説明されました。その中で特に「会員増強について」が緊急の課題として強いアピールになりました。

つづいての炉辺会合では恩田会長の司会のもと、小林幹事が質問事項をとりまとめて、ガバナーに質問しました。

1. 会員増強について効果的な方法、実例を知りたい
2. 他クラブ等での奉仕事業に見合った事業例は
3. ロータリー財団が実際に行っている活動の様子は VTR 書籍で紹介できるものがあるか
4. ホームカミングがどの程度進んでいるのか、米山奨学金に限らずお世話した奨学生が本国に帰っていろいろな分野で活動している現状を知り、当クラブでもホームカミングとして招待したいが

それぞれについて羽石ガバナーより適切な指導助言がありました。特に少人数クラブ共通の悩みになっている委員会構成について、CLP の目的、CLP の委員会構成のあり方等について、詳しい解説とそれに基づく指導がありました。今後のクラブの大きな課題となるものと思います。司会者より最後にガバナー補佐の発言が求められましたので、「佐野東クラブは少人数クラブだが年齢構成も比較的バランスがよく取れていて、二世会員も多く、昔の韓国との交流が今に生きるなど将来が楽しみなクラブです。これからの活躍が期待される」とコメントしました。充実したガバナー公式訪問の一日となりました。

#### 追記

佐野東ロータリークラブでは 1979 年以来多数の米山奨学生を受け入れ、国際親善に寄与してきました。今回その中の 1 人である権哲賢さん（駐日韓国大使）がクラブを訪問されました。阿部弘志さんの記録によれば 1984 年より公私にわたって受け入れ、カウンセラー活動を行ったとあります。筑波大学大学院の卒業式に出席するなど交流の深さを窺い知ることができます。これは斉藤貞夫さん、落合義行さん、岡部正秀さん、阿部弘志さん他多くの人々がカウンセラーを担当、または、援助活動に参加したからに他なりません。先輩ロータリークラブの活躍が歳月を超えて、立派に実を結び、今日に繋がったものと思います。このすばらしい先輩ロータリアンの皆さんに深い敬意と心からの感謝の気持ちを申し上げ追記とします。

## 小山南ロータリークラブ 公式訪問

9 月 9 日（火曜日）  
会場：小山グランドホテル

第 5 グループガバナー補佐  
**柿沼幸宏**



午前 11 時より、RI 役員でもあります羽石光臣ガバナーをお迎えし、山中史朗会長、山崎泰勝幹事をはじめ理事全員出席のもと、懇談会が行われました。山中会長から、今年度のクラブでの目標や活動方針の説明が詳しくあり、又、神山前ガバナー補佐や瀬野前新世代委員長をはじめ、各理事から胸襟を開き活発な発言がありました。

羽石ガバナーには、丁寧な御指導をいただきました。特にロータリーの理念について、有益なお話が聞け、皆、うなづき納得していました。

又、中間の指導的立場の会員の減少という悩みについても活発な討論がありました。

12 時 30 分より通常例会になり、始めに 1 人の新入会員の入会式がありました。1 時より 2 時迄、ガバナーの卓話があり、特に決議 23~ 34 四大奉仕の RI における攻防について詳しくお話があり、無事公式訪問が終了。集合写真を撮り散会致しました。



## 塩原ロータリークラブ 公式訪問

9月24日（水曜日）

会場：ホテルニュー塩原

第1グループガバナー補佐  
**塩川 美好**



塩原の溪谷美、さわやかな秋風、紺碧の空の下、9月24日第1グループ最初の公式訪問は、ホテルニュー塩原で開催されました。

鈴木汎会長、太田正孝幹事他2名の会員の出迎えを受け、羽石ガバナー・随員がお着きになりました。11時より恒例の会長・幹事との懇談会を12時まで。塩原クラブは会員数10名（当日出席8名）と少ないので、全員が懇談会に参加し開かれました。

最初に鈴木会長より、クラブの現況について話があり、地区内最小のクラブ塩原、小クラブなるが故の苦悩などが披瀝され、一人で3・4の委員会を受け持ち、活動を展開している実情である。だからクラブの実態・環境等を考慮し奉仕活動を展開している状況である。しかし、例会等はよくまとまり私語などは殆どなく和気藹々の中で進行されているが、常にロータリーの精神から脱線しないようお互い注意しているとのことでした。

羽石ガバナーからは、本年度のテーマ「夢をかたちに」についての話がありました。また、現況報告書の内容等について数点指摘を受け助言指導を頂きました。

12時20分より通常例会、羽石ガバナーの記念卓話、パワーポイントにより具体的で分かりやすく、ロータリー全般にわたる卓話を頂きました。

例会終了後炉辺会合にはいり、次のようなことが話題になりました。

- ・近県（茨城、群馬等）の小クラブとの交流会の計画
- ・合併の話もあるが、当分考えていない、極力会員増強に努める（現在1名入会見込）

ガバナーより、R1で考えているクラブ規模（20名以上）、ガバナー事務所の固定化等の話があり、その他いろいろと助言を頂き、公式訪問も和やかに終了しました。

## 栃木南ロータリークラブ 公式訪問

9月25日（木曜日）

会場：サンプラザ

第6グループガバナー補佐  
**平野 正之**



9月25日 11時集合

小生予定の11時きっかりに到着皆様をお待たせしてしまい恐縮。

ガバナーより報告事項の説明有り

県の育英会への協力金各クラブ @¥10,000何口でも参加希望。

職業奉仕委員会事例報告有り、ホームページに発表されているので参考にするように。

一般ライラ 11月初旬予定。

ローターアクト アンケートの返信を出す。

1クラブでローターアクトを維持するのは難しい、グループで作るのはどうか？

インターアクトの卒業生をローターアクトの元にする。



12月 12- 13 研修旅行、会津方面へ行く。  
2月 7日 ライラが行われる、世界ライラへの参加。  
2月 22日 米山学生歓送会を行う。  
4月 26日 地区大会にて学友に卓話させる予定。  
奉仕活動は他のクラブの活動状況を参考にするのも良いと思う。  
以上報告有り、次に現況報告書についての注意を指摘。  
歴代 RI 会長名のあとに歴代ガバナー名を入れるように。  
報告書の年号は西暦に統一した方がベターである。  
地区限定表示は所在地域に変更。栃木市の全域に表示。  
副幹事は役員ではないので役員のランに入れない。  
決算、予算支出の部の項目は食費ではなく例会費に仕分けする。  
友愛箱の募金よりプレゼント代は支出不可、親睦費より支出する。  
クラブ定款及び細則は 3年に 1度変更があるので注意するように。  
CLPが決まったクラブ組織図に入れるように。

以上の指摘有り、次にパワーポイントによりロータリーの原点に付いてのレクチャーをうける。  
ロータリアンたるものは、徒に慈善事業にエネルギーを費やすなかれ、人間を如何に育てるかに力を注げ。  
何時間聞いても心地よい言葉である。

その後協議会を活発なる意見交換の下無事終了。  
お疲れさまでした。

## 那須ロータリークラブ 公式訪問

10月 2日 (木曜日)

会場：ホテル・フロラシオン那須

第 1グループガバナー補佐  
塩川 美好



夜半まで降っていた雨も上がり、10月 2日は雨上がりの澄みきった秋空、那須連山が車窓から眺望でき、  
運転を危ぶむ程のよい天気であった。時々那須連山を眺めながら、安愚楽牧場へその奥に本日の会場、ホテル・フロラシオン那須。

羽石ガバナーは少々早めに着いたので、ホテルの周りを散策し、10時 30分山口会長、国分副会長、櫻田幹事、岡部会計の出迎えを受け、早速会長・幹事との懇談会に入る。

懇談会は山口会長より歓迎の挨拶を兼ねてクラブ現況報告があり、特に CLP導入 2年目を迎え運営してきたが、いろいろと課題もありクラブの独自性を出すことは今後更に会員一同努力して参りたいとのこと。

羽石ガバナーより現況報告書の内容について数点指摘され、次年度の課題として指導されるが、当クラブのリトルアクトクラブに触れ、現在の動向はどうか、会長より 2年間ほど続いたが会員の減少との絡みもあり、その後はその精神を受け継ぎ、地域の子どものため支援活動(子狐太鼓)を継続している。ガバナーより、子どもは地域の資源である、今後さらに努力するようにと助言があり懇談会は終わる。

例会に入り、ガバナーの記念卓話はパワーポイントにより、映像を通して 45分にわたりわかりやすい卓話であった。

最後にスマイルボックスの報告があり、「素晴らしい秋空のなかで、素晴らしい卓話を聞くことができよかった。」という会員一同のボックスであった。



## 小山中央ロータリークラブ 公式訪問

10月6日（月曜日）

会場：思水荘

第5グループガバナー補佐  
**柿沼幸宏**



小山中央ロータリークラブにとって第13回目の公式訪問が羽石光臣ガバナーをお迎えし、開催されました。

西口会長、岩瀬幹事、次年度会長、幹事出席のもと、11時より懇談会が行われ、西口会長より、親睦と社会奉仕について抱負が述べられ、その中で社会奉仕はグループ内の各クラブとも情報交換し、連携を模索することも視野に入れて考えたいとのことでした。

又、三大義務の一つである出席率の向上についてガバナーより適切なご指導がありました。互いに心を開き、今のロータリーに対する疑問、不満を率直にガバナーと対話し有意義な懇談会でした。

会員数24名ですが、21名の出席のもと、12時30分より通常例会でカウンセラーの森会員より米山奨学生の梅塊さんの紹介があり、1時より約1時間、羽石ガバナーの卓話、講演があり、その中でロータリーの理念について、又、ロータリーの目的、魅力について纏々お話しされ、皆うなづき、納得していました。

2時に集合写真を撮り、無事公式訪問が終了致しました。

## 大田原中央ロータリークラブ 公式訪問

10月8日（水曜日）

会場：KATSUTAYA

第1グループガバナー補佐  
**塩川美好**



朝まで降っていた雨も上がり、結婚式場 KATSUTAYAで第1グループ4回目のガバナー公式訪問が行われました。直井会長、池田幹事の出迎えを受け、羽石ガバナー、同行の太城会員が10時20分到着、休憩後会長・幹事との懇談会に入りました。

直井会長より挨拶をかねて現況報告書とクラブの概況等について報告があり、特に会員の増強に努め、近いうちに2・3名入会する見込みであるとのこと、本当に明るい話でした。現在女性会員1名ですが、これを2・3名にしたいという意気込みでした。

ガバナーからは現況報告書の内容について若干指導助言を受けました。一般会計（にこにこボックス）、委員会構成で役員理事の区別、職業分類で充填率が22%、これを40%になるよう大幅な見直しが必要である等々。

特に会員増強等で、クラブの活性化を図ることに大きく役立っていると思います、今後のクラブ発展を期待します。

午後は、通常例会の中でガバナーの記念卓話、卓話の内容は「RIのテーマ或いはRIの活動、ガバナーの方針等」を理解して頂くため、パワーポイントを使い映像をとおして具体的に約50分にわたっての卓話でした。

最後に直井会長司会のもとに質疑応答があり、その中で在籍年数が比較的短い、その原因等について話合いが行われ、いろいろと意見が出ましたが要は入会後のカウンセリングが重要であるとの助言がありました。和やかなうちに公式訪問は終わりました。



## 矢板ロータリークラブ 公式訪問

10月14日（火曜日）

会場：矢板イースタンホテル

第2グループガバナー補佐  
**斎藤 友紀雄**



いよいよ矢板だ。そして矢板の会長はあの桜井氏なのである。

氏家税務署管内法人会青年部で彼の名を知らぬ人はいない。長期の役員在任中、どこかの大臣ばりに直言と放言を繰り返した荒武者だからだ。ちゃんと会長職を努めているのだろうか。メンバーに迷惑をかけていないのだろうか。友人だけに不安と興味が募った。

結論から言えば、すべては杞憂だった。現況報告書への各種指摘に素直にうなずき、エレクトや幹事に改善を指示する真摯で神妙な姿。彼に双子の兄がいるとは聞いていないから、間違いなく本人なのだろう。

事前訪問の際潜入した、例会終了後のロビーでの歓談は、なごやかな中にも真剣で建設的だった。聞けば会員の顔がすべて見えるよう、例会場の机をコの字形に配置したことを機に、テーブルミーティングの代わりに例会後の座談会を設けているとのことだった。

ガバナーの卓話の中にあつた、RIにおける決議 23 - 24の扱いや、「奉仕団体派」と「人間形成派」との綱引きがあつても、かの米山梅吉翁が語られた「ロータリーの例会は人生の道場である」ことにいささかの変化もない。

エレクト、SAAなど多くの女性会員が要職で活躍し、それをベテランが温かく見守る。荒武者を紳士に変えた矢板クラブはどんな道を目指すのだろうか。変革のエネルギーに溢れた、伝統あるクラブの今後に目が離せない。

### ガバナーエレクト事務所開設のご案内

開設日 2008年10月1日（水）

所在地 〒320-0826 宇都宮市西原町142 宇都宮グランドホテル内 1F

電話 028-651-2550

FAX 028-651-2551

E-mail m2550@agate.plala.or.jp

執務時間 午前10:00～午後4:00（土日・祝日は休み）

ガバナーエレクト	森 玄房
地区幹事	伊東 永峯
地区資金委員	村上 龍也
事務局	永島 敦子



## 米山記念奨学会・財団 表彰

## 米山功労者一覧表

2008年7月～9月分

2以上はマルチプル、10以上はメジャードナー

壬生RC	綱島康博	第2回	(マルチプル)
栃木西RC	平野正之	第5回	(マルチプル)
栃木西RC	石崎功一	第10回	(メジャードナー)
栃木西RC	石塚明	第15回	(メジャードナー)
足利RC	岡崎真次	第1回	
栃木西RC	大落合雅伸	第6回	(マルチプル)
栃木西RC	大落合雅伸	第11回	(メジャードナー)
真岡西RC	入江昭三	第2回	(マルチプル)
真岡西RC	中島盛二	第2回	(マルチプル)
真岡西RC	西田一之	第3回	(マルチプル)
真岡西RC	手塚義輝	第2回	(マルチプル)
栃木RC	峯岸昭	第19回	(メジャードナー)
栃木RC	峯岸昭	第20回	(メジャードナー)
宇都宮90RC	比企洋規	第4回	(マルチプル)
宇都宮90RC	比企洋規	第2回	(マルチプル)
宇都宮90RC	鈴木章	第1回	
宇都宮90RC	吉田慶司	第1回	

## ロータリー財団

2008年7～9月分

(ポール・ハリス・フェロー)

真岡西RC	谷中洋子
宇都宮陽南RC	中島忠男

(マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)

栃木西RC	石塚明	4
葛生RC	馬場俊一	2
葛生RC	永井成雄	2
壬生RC	綱島康博	2
足利西RC	寺内徳樹	3
真岡西RC	廣澤久江	1
真岡西RC	中島盛二	3
真岡西RC	斎藤英孝	2
真岡西RC	杉山勝利	2
真岡西RC	山口久一郎	3
真岡西RC	吉羽徹	1

(ベネファクター)

今市きぬRC	鈴木郁男
佐野RC	磯野信次郎
宇都宮陽南RC	西根恵子

## 米山功労クラブ

宇都宮90RC 第15回

## 地区主要行事予定

月	日	曜日	行事	担当	場所
11	1~3	土~月	第32回青少年対象ライラセミナー	地区ライラ委員会	葛生 あきやま学寮
	6	木	第14回地区親善野球大会前夜祭	宇都宮北RC	宇都宮 宇都宮グランドホテル
	9	日	第14回地区親善野球大会	宇都宮北RC	宇都宮 県総合運動公園
	16	日	真岡RC50周年		
	19	水	ロータリー財団地域セミナー		
	21~22		ロータリー研究会	RI	東京
12	6	土	第2回地区運営委員会	事務所	宇都宮 ホテル丸治
	7	日	クラブ活性研修会	地区活性委員会	宇都宮 宇都宮グランドホテル

2009年					
1	18~25	日~日	国際協議会	森GE	米国 サンディエゴ
	18	日	米山奨学生選考会	米山記念奨学委員会	宇都宮 ホテルニューイタヤ
2	1	日	第2回会長・幹事会	ホスト宇都宮東RC	宇都宮 護国会館
	8	日	第3回地区運営委員会、第3回諮問委員会 森GE帰朝報告会	事務所	宇都宮
	14	土	田沼RC45周年		
	21	土	岩舟RC30周年		
3	1	日	地区チーム研修セミナー	ホスト宇都宮西RC	宇都宮グランドホテル
	15	日	会長エレクト研修セミナー	ホスト宇都宮西RC	未定
			第10回高校生ライラセミナー		
4	24	金	地区大会記念ゴルフ大会	ホスト宇都宮東RC	宇都宮 ロイヤルCC
	25	土	R会長代理歓迎晩餐会	ホスト宇都宮東RC	宇都宮 ホテルニューイタヤ
	26	日	2008~09年度 地区大会	ホスト宇都宮東RC	宇都宮 栃木県教育会館
5	10	日	地区協議会	ホスト宇都宮西RC	宇都宮 宇都宮短期大学
6	21~24	日~水	国際大会		バーミンガム



## 2007~2008年度 国際ロータリー第2550地区 地区資金 / 基金及び協力金収支計算書

(2007.7.1~2008.6.30)

## 1. 地区資金の部

(単位:円)

前年度繰越金	17,078,172
当期収入総額	14,520,947
当期支出総額	13,612,065
差引次年度繰越金	17,987,054

## 収入の部

基準会員数 2,000名

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
前年度繰越金	500,000	17,078,172	16,578,172	
地区資金受入	15,000,000	14,480,625	519,375	前期新入会員 ¥3,750×1,901名 = 7,128,750 後期新入会員 ¥1,875×48名 = 90,000 後期新入会員 ¥3,750×1,924名 = 7,215,000 新入会員 ¥1,875×25名 = 46,875 預金利息 40,322
雑収入	400,000	40,322	359,678	
期間総収入	15,900,000	31,599,119	15,699,119	

## 支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
<b>&lt;委員会活動費&gt;</b>				
地区活性委員会	100,000	100,000	0	
クラブ奉仕	400,000	331,250	68,750	
奉仕プロジェクト	30,000	30,000	0	
職業奉仕	110,000	50,000	60,000	
社会奉仕	110,000	50,000	60,000	
国際奉仕	110,000	110,000	0	
新世代プロジェクト	150,000	143,658	6,342	
ロータリー財団	120,000	100,717	19,283	
米山記念奨学会	120,000	120,000	0	
ロータリーの友地区委員	30,000	30,000	0	
オンツウ国際大会	10,000	0	10,000	
諮問委員会	700,000	674,625	25,375	
指名委員会	100,000	11,585	88,415	
地区会合	600,000	271,714	328,286	
D I C O活動費	150,000	89,355	60,645	
ガバナー補佐会議費	300,000	247,686	52,314	
小 計	( 3,140,000)	( 2,360,590)	( 779,410)	
<b>&lt;補助金&gt;</b>				
地区大会	1,000,000	1,000,000	0	
地区協議会	1,400,000	1,400,000	0	
地区チーム研修セミナー	1,000,000	1,000,000	0	
会長エレクト研修セミナー	1,000,000	1,000,000	0	
I M	450,000	450,000	0	
会長幹事会	200,000	200,000	0	
次期ガバナー旅費	1,200,000	1,200,000	0	
ガバナー補佐活動費	1,250,000	1,250,000	0	
親善活動費	300,000	300,000	0	
拡大増強活動費	500,000	250,000	250,000	
広報活動費	300,000	0	300,000	
小 計	( 8,600,000)	( 8,050,000)	( 550,000)	
<b>&lt;納付金その他&gt;</b>				
ロータリー文庫運営費	600,000	573,900	26,100	
全国ガバナー会費	400,000	411,475	11,475	
ロータリー研究会分担金	700,000	575,000	125,000	
旅費	500,000	458,000	42,000	
慶弔費	100,000	0	100,000	
登録料	300,000	373,000	73,000	
監査費	30,000	30,000	0	
年次報告書作成費	250,000	250,000	0	
雑費	300,000	70,000	230,000	
予備費	480,000	460,100	19,900	
小 計	( 3,660,000)	( 3,201,475)	( 458,525)	
次期繰越金	500,000	0	500,000	
期 間 総 支 出	15,900,000	13,612,065	2,287,935	



## 2. 基金及び協力金の部

(単位：円)

前年度繰越金	2,074,259
当期収入総額	48,610,271
当期支出総額	46,786,840
差引次年度繰越金	3,897,690

## 収支計算書

(単位：円)

科目	予算額	収入決算額	前年度より繰越金	支出決算額	増減
ガバナー月信購読料	4,000,000	3,861,500		4,112,850	251,350
地区大会分担金	20,000,000	19,307,500		16,141,350	3,166,150
ガバナー事務所協力金	12,400,000	11,970,650		13,746,402	1,775,752
青少年交換基金	4,500,000	4,344,151		4,516,327	172,176
新世代基金	4,700,000	4,537,226		4,486,500	50,726
国際親善基金・WCS基金	100,000	96,574	341,521	0	438,095
GSE基金	3,600,000	3,475,350		3,337,072	138,278
国際親善奨学基金	600,000	579,225		346,339	232,886
財団学友基金	100,000	96,574		100,000	3,426
合計	50,000,000	48,268,750	341,521	46,786,840	1,823,431

## 3. 地区資金 / 基金及び協力金収支合計表

(単位：円)

科目	前年度繰越金	当期収入総額	当期支出総額	次年度繰越金
地区資金	17,078,172	14,520,947	13,612,065	17,987,054
基金・協力金	2,074,259	48,610,271*	46,786,840	3,897,690
合計	19,152,431	63,131,218	60,398,905	21,884,744

\* WCS基金前年度繰越金 341,521を含む

## 次年度繰越金内訳 (次年度ガバナー事務所への送金)

2007.9.11	3,000,000
2008.1.16	3,000,000
2008.9.12	15,884,744
合計	21,884,744

以上の通り 2007 - 08年度 会計報告をいたします。

2008年 9月 12日

国際ロータリー第 2550地区  
 ガバナー 近藤 隆亮  
 地区幹事 篠崎 昌平  
 地区会計長 久保井一臣

## 監査報告書

私は、平成 20年 9月 12日 宇都宮市江野町 1-12 栃木実業ビル 2F ガバナー事務所内において、国際ロータリー第 2550地区 2007 ~ 2008年度 地区資金収支計算書・基金及び協力金収支計算書について、同年度ガバナー近藤隆亮、地区幹事 篠崎 昌平、地区会計長 久保井一臣 立会のもと監査を実施いたしました。

監査の結果、地区資金収支計算書・基金及び協力金収支計算書は何れも適正且つ正確であることを認めましたので、ここに報告いたします。

2008年 9月 12日

2007 - 2008年度 国際ロータリー第 2550地区

監査 公認会計士 関根則次 (印)



# 第2550地区 新入会員



すず き かず お  
**鈴木 一雄** (小山北 RC)  
株式会社スズテック 専務取締役  
入会年月日 平成 20年 7月 2日  
お世話になります。ご指導よろしくお願ひします。



す なが のり よし  
**須永 徳 義** (足利 RC)  
須永鉄工株式会社 取締役社長  
入会年月日 平成 20年 8月 22日  
このたび先輩の紹介で入会しました。よろしくお願ひします。



たか せ よし ひさ  
**高瀬 佳久** (宇都宮東 RC)  
高瀬整形外科 院長  
入会年月日 平成 20年 8月 26日  
再入会の高瀬です。何かと多忙で失礼しました。80才となって余生を何か貢献したいと考えています。



なか むら あきら  
**中村 明** (宇都宮東 RC)  
ソニー生命保険(株) 宇都宮支社 営業所長  
入会年月日 平成 20年 8月 26日  
このたび御縁がございまして入会させて頂きました。どうぞ宜しくお願いします。



むか い しげ みつ  
**向井 重光** (宇都宮東 RC)  
(株)ロイヤルグリーンクラブ 総支配人  
入会年月日 平成 20年 9月 9日  
初めてのロータリーで自分なりに頑張りたいと思います。



あ べ かず ゆき  
**阿部 和幸** (小山 RC)  
阿部産業株式会社 代表取締役  
入会年月日 平成 20年 9月 4日



ごう よし のり  
**郷 芳憲** (小山 RC)  
(株)セントラルガスセンター 代表取締役  
入会年月日 平成 20年 9月 4日  
入会させていただき光栄に存じます。地域社会に奉仕を積極的にやってまいります。



お だ とし つぐ  
**小田 俊次** (足利わたらせ RC)  
共栄観光興業株式会社 専務取締役  
入会年月日 平成 20年 9月 4日



もり き だ すずむ  
**森木 田 進** (宇都宮 RC)  
日興コーディアル証券(株) 宇都宮支店 支店長  
入会年月日 平成 20年 9月 18日



から さき たか し  
**唐崎 隆史** (宇都宮 RC)  
東京電力(株) 執行役員 栃木支店長  
入会年月日 平成 20年 9月 29日



かた やま たつ ろう  
**片山 辰郎** (宇都宮 RC)  
医療法人社団 呑空庵 片山医院 理事長  
入会年月日 平成 20年 9月 30日



さい とう たけ お  
**齋 藤 健夫** (宇都宮 RC)  
(株)東邦銀行宇都宮支店 支店長  
入会年月日 平成 20年 10月 1日



### 第 2550地区 新入会員



なか だ やす つく  
**仲 田 安 次**  
 (宇都宮南 RC)  
 有限会社西原マーキング 代表取締役  
 入会年月日 平成 20年 9月 24日



だい ぐう し みつ お  
**大宮司 光 男**  
 (宇都宮陽南 RC)  
 (有)カーリファイン  
 入会年月日 平成 20年 9月 25日  
 皆さんと、協和・協調し前向に取り組んでゆきます。



ふか さわ ひさし  
**深 澤 寿**  
 (馬頭小川 RC)  
 株式会社ダイサン印刷 常務取締役  
 入会年月日 平成 20年 10月 1日  
 地域に根ざして頑張っていきますのでご指導宜しく  
 お願い致します。

### 物 故 会 員

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



まえ だ しげる  
**前 田 茂**  
 享年 75歳  
 (宇都宮 90RC)  
 物故 平成 20年 6月 21日

ロータリー歴  
 1998 職業奉仕委員長  
 2000 クラブ奉仕委員長  
 2003 会長エレクト  
 2004 会長

財団、米山記念奨学会などの寄付歴  
 2001～ 2002 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
 1999～ 2000 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
 2004～ 2005 ベネファクター  
 1991～ 1992 米山功労者



とき た に し  
**時 田 二 治**  
 享年 54歳  
 (岩舟 RC)  
 物故 平成 20年 9月 19日

# 文庫通信

253号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして 1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 最近のロータリー情報より (3)

「ロータリーのサーヴィス・コンセプトについて考えよう」 松宮 剛  
2007 9p (D.2500地区大会報告書)

「ロータリーの心と原点を大切にしよう」 廣畑富雄 2006 10p (D.2700地区大会記録)

「ロータリーの原点」 成川守彦 2006 5p (D.2700地区大会記録)

「教育という大業」 佐藤千壽 2008 12p (D.2670地区大会記録)

「ロータリー財団活動の成果～世界平和への貢献(シンポジウム)」 内藤幸彦 他  
2008 4p (D.2590地区大会の記録特集号)

「CLPを理解しよう」 成川守彦 2007 5p (D.2670 IM報告書)

「ネパールの医療活動について」 伊藤公夫 2008 3p (D.2540地区大会記録)

「松枯れ防止活動」 那波宗久 2008 3p (D.2540地区大会記録)

「ロータリーの初期の人々ー シェルドン・コリンズ・ベア・ラグルス・デイビッドソン」  
三木 明記 2007 13p (D.2680月信)

「五つの課題への協力(クラブ会長就任演説)」 ガイ・ガンディカー 田中 毅記  
ー 4p (ロータリーの源流から)

[ 上記申込先: ロータリー文庫 コピー / PDF ]

## 【 ロータリー文庫 】

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F  
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506【 <http://www.rotary-bunko.gr.jp> 】  
開館 = 午前10時～午後5時 / 休館 = 土・日・祝祭日

## 通信欄

### 那須ロータリークラブ

8月会員増強・出席報告 今月(8月)の会員数・・・x誤 24名 正 21名

### 地区主要行事予定

米山奨学生選考会開催日・・・x誤 2009年 2月 18日(日) 正 2009年 1月 18日(日)

## 【 国際ロータリー第 2550地区 9月会員増強・出席報告 】

区分	クラブ名	出席率			会 員 数							
		例回数	今 月	平 均	前 日	今 月	入 会	退 会	通算増	通算減	増 減	内女性 会 員
第1グループ	大 田 原	4	76.05	86.01	44	44	0	0	0	0	0	2
	黒 磯	4	100.00	100.00	45	45	0	0	0	0	0	2
	西 那 須 野	4	95.45	96.97	48	47	0	0	1	2	- 1	0
	黒 羽	4	95.59	96.08	17	17	0	0	0	0	0	1
	那 須	4	76.19	77.10	18	21	0	0	3	0	3	2
	塩 原	4	82.50	83.33	10	10	0	0	0	0	0	0
大 田 原 中 央	4	71.80	74.20	20	21	0	0	1	0	1	1	
第2グループ	烏 山	4	81.52	83.54	17	16	0	1	0	1	- 1	1
	氏 家	4	75.89	78.87	32	32	0	0	0	0	0	0
	矢 板	4	83.75	88.65	32	32	0	0	0	0	0	5
	馬 頭 小 川	4	90.40	88.97	21	21	0	0	0	0	0	0
	高 根 沢	4	84.72	81.63	19	18	0	0	0	1	- 1	0
第3グループA	宇 都 宮	4	74.30	74.47	94	96	1	1	4	2	2	0
	宇 都 宮 西	3	86.41	86.68	61	63	0	0	2	0	2	0
	宇 都 宮 北	4	76.02	75.91	57	57	0	0	0	0	0	0
	宇 都 宮 9 0	4	83.56	85.52	38	38	0	0	0	0	0	4
	宇 都 宮 陽 北	4	87.10	89.13	35	37	1	0	3	1	2	5
第3グループB	宇 都 宮 東	4	93.91	94.61	98	102	1	0	4	0	4	0
	宇 都 宮 南	4	67.68	72.02	56	57	1	0	1	0	1	0
	宇 都 宮 陽 東	4	70.10	75.00	44	46	0	0	2	0	2	1
	宇 都 宮 陽 南	4	80.65	77.26	18	24	1	0	6	0	6	4
第4グループ	真 岡	4	92.89	93.51	51	52	0	0	1	0	1	0
	益 子	4	88.40	89.47	34	34	0	0	0	0	0	0
	真 岡 西	4	97.16	95.80	47	47	0	0	0	0	0	10
	し も つ け	4	92.70	92.75	31	31	0	0	0	0	0	8
第5グループ	小 山	3	96.50	91.03	47	48	2	0	2	1	1	0
	小 山 南	4	97.22	99.07	18	18	0	0	0	0	0	2
	小 山 東	4	96.53	94.46	35	36	1	0	1	0	1	0
	小 山 北	4	72.00	81.86	25	27	1	0	2	0	2	0
	小 山 中 央	4	65.60	70.20	24	24	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃 木	4	83.35	82.44	48	48	0	0	0	0	0	0
	栃 木 西	4	83.21	82.93	42	42	0	0	0	0	0	0
	壬 生	4	80.95	82.33	21	21	0	0	0	0	0	2
	栃 木 南	4	91.80	91.77	34	34	0	0	0	0	0	5
第7グループ	日 光	3	79.09	80.75	28	27	0	1	0	1	- 1	5
	鹿 沼	4	91.78	94.14	72	73	1	0	1	0	1	1
	今 市	4	91.86	91.55	43	43	0	0	1	1	0	0
	鹿 沼 東	4	93.57	95.14	44	43	0	1	0	1	- 1	2
	粟 野 西 方	4	89.25	93.36	14	14	0	0	0	0	0	1
	鹿 沼 中 央	4	86.11	77.36	27	28	0	0	1	0	1	2
	今 市 き ぬ	4	91.67	93.87	28	30	0	0	2	0	2	1
第8グループ	足 利	4	71.43	74.70	46	49	0	0	3	0	3	0
	足 利 東	3	71.78	75.36	58	58	0	0	0	0	0	8
	足 利 西	4	73.20	75.40	14	14	0	0	0	0	0	0
	足 利 わ た ら せ	3	97.66	99.22	32	33	1	0	1	0	1	0
第9グループ	佐 野	3	88.48	89.01	53	55	0	0	2	0	2	0
	葛 生	4	88.50	92.83	39	39	0	0	0	0	0	0
	田 沼	3	91.32	93.13	34	35	0	0	1	0	1	0
	佐 野 東	4	79.35	81.52	23	23	0	0	0	0	0	0
	岩 舟	4	81.40	87.67	25	25	0	0	0	0	0	1
5 0 R C		84.77	86.17	1861	1895	11	4	45	11	34	77	